

みなさん、こんにちは。

今日は、業務紹介第18弾として、砂防分野の業務内容を、水管理・国土保全局砂防部砂防計画課石田係長（入省7年目）より語っていただきました！



石田係長（入省7年目） ※写真左端

1. 砂防分野の業務の国交省における役割を教えてください。

日本は毎年多くの土砂災害が発生しています。国土交通省では土砂災害から国民の生命を守るため、山崩れ防止の施設をつくったり避難を促すという役割を担っています。



令和元年東日本台風（台風第19号）により発生した土砂災害（群馬県富岡市；左）や、土砂・洪水氾濫（宮城県丸森町；右）

2. 現在の目玉施策を教えてください。

土砂災害からの生活を守るために、砂防堰堤といった構造物を整備しています。またそれらとあわせて、危険な場所にこれ以上人が住むことを防ぐための施策を進めています。具体的には土砂災害からの避難を促すために、日本全国における土砂災害が発生するおそれがある箇所の調査を都道府県に行ってもらっています。その調査結果は市町村のハザードマップに反映してもらい、住民の避難に役立ててもらおうこととしています。



3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

地方自治体においては、住民の避難体制などを整備する「ソフト対策」を進めて頂いています。その対策を進めるための基本的な方針やルールの見直しを行っています。また、その他にも土砂災害対策における諸外国との情報共有や、行政に活用するための研究開発のとりまとめなども行っています。
※昨年度はオーストリアとの二国間会議のためウィーンを訪問しました（冒頭の写真）。



オーストリア・ガゼンの砂防施設

4. 苦労する点や、やりがいについて教えてください。

土砂災害対策は今後住まい方の変化や災害に対する認識など、様々なことを考慮して進めていくことが必要になっています。そのため一方向からの考え方のみではなく、地域の防災やまちづくりに対する取組を踏まえて、検討を進めていく必要があります。その点が苦労する点であると同時に、やりがいを感じる点でもあります。

5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

国土交通省の仕事は、みなさんが生活をする上で色んなところで関わっていることばかりです。それにより多岐にわたる業務はもちろん、色々な人に出会えることも国交省の大きな魅力だと思っています。
やりたいことが決まっている人だけでなく、色々なことに興味のある方におすすめの職場です。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで行った有識者会議の様子